

実地視察教員養成機関の概要

機関名	彰栄保育福祉専門学校			設置者名	学校法人彰栄学園			
課程・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (令和5年度)			
課程・学科等	設置 年度	入学 定員	免許状の種類	指定年度	卒業者数	免許状 取得者数		教員 就職 者数
						実数	個別	
教員養成専門課程 保育科	大正6年度	120人	幼稚園二種	昭和26年度	80人	80人	80人	14人
入学定員合計		120人	合計		80人	80人	80人	14人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和6年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。							

教職課程実地視察教員養成機関に対する講評

実地視察日：令和6年12月23日（月）実地

実地視察機関：彰栄保育福祉専門学校

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○貴校としての教員養成に対する理念・構想について、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教育研究実施組織

○質の高い保育者を養成するために民間資格の取得につながる授業科目を開講し、教育課程の工夫を行っていることは評価できる。
○実践的な教育内容の充実と併せて、理論的な教育内容についても理解が深まるよう、理論と実践の往還を意識した授業改善に努めていただきたい。
○教員の研究に対する支援について、今後は一層努めていただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○教育実習について、生徒への指導体制をはじめ、適切に行われていることが確認された。
○異文化交流や小学校との接続などを意識した多様な実習経験の確保に努めていただきたい。

4. 生徒への教職指導の取組状況及び体制

○学生の主体的な学びが促進されるカリキュラムについて御検討いただきたい。また、履修カルテの活用を充実させることについても取り組んでいただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○実習に関する取組などを検討する際には、併せて教育委員会や関係機関等との連携・協働にも配慮しつつ、計画していただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○ICT 等に関する授業科目を支援する基本的な施設は整っていることが確認できた。
今後は、ICT の活用を授業実践に積極的に取り入れることができるような施設・備品等の整備に努めていただきたい。
○図書館の蔵書については発行年が古いものが多い。特に新たな知識が求められる分野に関連する図書の充実にも努めていただきたい。

7. その他特記事項

○悩みを抱える卒業生に対してフォローアップを行うなど、卒業後の支援の充実を期待したい。